

科目コード	E406
授業科目名	産業保健経済学
授業科目名(英文)	Occupational Health Economics
講義室等	6206
学科	産業衛生科学科
対象学年	4年
開講学期	後学期
必修・選択の別	選択
単位数	1
時間数	15
該当ディプロマ	◎産DP-5・産業衛生総合
該当コンピテンス	◎産CP-8、○産CP-7、△産CP-6
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	河村 洋子
授業の概要	現代社会における人の営みは、経済と切り離すことができない。特に、労働については、経済活動とほぼ同義語という認識が浸透しているといえる。しかし、経済と労働が相互にパラドックス的な対立関係となったり、経済発展という社会の成長(として考えられているもの)が労働者個人の発展や成長と相容れない状態として社会問題になることが社会問題となることもある。そして、産業保健はこの境界的な問題を、緩衝する重要な役割を担うことも少なくない。本科目では、国内外の現代社会の直面している実際的な課題を取り上げ、働くこと、働く人と経済の関係を産業保健の観点から考察する。なお、本科目は輪読形式で進める
授業の到達目標 (学修効果)	1. 働くこと、働く人と経済の関係に関して、社会的課題を挙げることができる 2. 働くこと、働く人と経済の関係に関して、1つ以上の具体的な社会的課題について、自分の言葉で説明することができる 3. 働くこと、働く人と経済の関係に関して、1つ以上の具体的な社会的課題について、自分なりの考えを述べるることができる
予習復習の所要時間	講義時間16時間(2時間×1コマ×8回)+予習・復習29時間
成績評価方法	授業への参加の姿勢(40%)、(輪読の課題への十分な準備)(40%)、最終レポート(20%)で、60点以上を合格とする。
教科書	日本経済新聞社【編】「身近な疑問が解ける経済学」日本経済新聞社出版社 2014年
参考書	その他、論文を配付する
その他	

非常勤講師(学内：1 学外：2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6.10.7	月	II	オリエンテーション、日常生活に関わる経済学分野(1)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
2	R6.10.21	月	II	日常生活に関わる経済学分野(2)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
3	R6.10.28	月	II	日常生活に関わる経済学分野(3)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
4	R6.11.11	月	II	日常生活に関わる経済学分野(4)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
5	R6.11.18	月	II	経営学における経済学ディシプリンの中から(1)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
6	R6.11.25	月	II	経営学における経済学ディシプリンの中から(1)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
7	R6.11.22	月	II	経営学における経済学ディシプリンの中から(1)	講義・グループワーク	河村 洋子		
				予習 事前提供資料を読み、発表できるようにレジュメを準備する				
				復習 振り返りのレポート				
8	R6.12.9	月	II	学生発表：学びの成果のプレゼンテーション	グループワーク・発表	河村 洋子		
				予習 プレゼンテーション準備				
				復習 振り返りのレポート				